

News Release

**「ちびまる子ちゃん」原作 35 周年記念公演
ちびまる子ちゃん THE STAGE『はいすくーるでいず』
キービジュアル & 全情報解禁！****3 年 4 組の男子たちが高校生になったとしたらー
「ちびまる子ちゃん」、8 年後の“もしも”のお話！**

日本アニメーション株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石川和子)が、アニメーション制作・ライセンス管理を行う「ちびまる子ちゃん」の原作35周年を記念した舞台公演 **ちびまる子ちゃん THE STAGE『はいすくーるでいず』**のキービジュアルおよび全ての公演情報を本日公開いたしました。

「ちびまる子ちゃん」は、静岡県清水市(現 静岡県静岡市清水区)を舞台に、作者のさくらももこさんが自身を投影した小学3年生の「まる子」をはじめ、家族や友だちとのほのぼのとした日常を、楽しく、面白く、時に切なく描いた心温まる作品です。1986年に『りぼん』(集英社)で連載がスタートし、2021年に連載開始から35周年を迎えた「ちびまる子ちゃん」。2021年から2022年までを“「ちびまる子ちゃん」原作35周年記念イヤー”とし、アニバーサリーをお祝いする企画を実施中です。

“「ちびまる子ちゃん」原作35周年記念イヤー”のラストをかざるのは舞台化作品 **ちびまる子ちゃん THE STAGE『はいすくーるでいず』**です。本作品は「まる子のクラスメイトである3年4組の男子たちが、高校生になったとしたら!？」を描く、もしものお話です。



この度、本作のキービジュアルおよび待望の配役を含む全情報を解禁いたしました！

キービジュアルでは、3年4組の男子たちの8年後の姿がついにお披露目となります。また、前回までに発表した3年4組男子キャストのほか、ヒデじいや大野君のお爺ちゃん、金井先生といった脇を固める名俳優も集結！舞台オリジナルキャラクターも登場し、男子たちの日常を彩ります。

ほのぼのとした日常や高校生ならではの悩みや葛藤、仲間との友情や青春を描くハートフルな物語、ちびまる子ちゃん THE STAGE『はいすくーるでいず』にぜひご期待ください！

オフィシャルサイト: <https://chibimaruko-stage.com/>

オフィシャル Twitter: https://twitter.com/chibimaruko_stg

キャスト&演出家コメント

花輪和彦(花輪クン)役 佐奈宏紀

「ちびまる子ちゃん」という長く愛されている素敵な作品に携わる事ができて、とても光栄で嬉しく思います。そして、僕が演じさせていただく花輪クンも、皆さんに愛されているキャラクターの一人だと思っています。その花輪クンを演じられること、とても楽しみです。花輪クンについて熱心に調べるほど、どこか自分に近いものを感じているので、稽古を経て、自分なりの高校生・花輪クンを作り上げられたらなと思います！また、演出家の顕作さんの作る優しい世界観が大好きなので、「ちびまる子ちゃん×小林顕作」がどんな作品になるのか、イチファン目線としても楽しみにしています！（笑）

この作品の支えになれるよう、精一杯頑張りますので、応援よろしくお願いします！

浜崎のりたか(はまじ)役 松島勇之介

はじめまして。はまじ役を演じさせていただきます松島勇之介です！

皆さまいかがだったでしょうか？予想は的中しましたか？（笑）

まず、「ちびまる子ちゃん」はもう、言わずと知れた名作。僕も幼いころから毎週日曜の夕方、おばあちゃんのお家で家族とアニメを見ていました。今回は漫画「ちびまる子ちゃん」のその後のお話。まる子と共に成長してきた僕としては大変感慨深いことです。そして今回ののはまじ青年は、台本を読むとあのころと同じようにおちゃらけるだけでなく、夢を持ち覚悟があるどこか男らしい良い男といった印象です。それぞれが大きくなった姿をどうか劇場で目撃してください！！

藤木 茂(藤木君)役 矢田悠祐

藤木君役を演じます、矢田悠祐です。

まさかの登場人物全員、高校生になっています。一体どんな風に成長していて、そしてどんな舞台になるのか、僕には全く想像が付きません。いい意味で（笑）

最近は悪役を演じる事が多かったので、今回は思う存分青春させていただいて、デトックスしようと思います。よろしくお願いします。

小杉 太(小杉君)役 川崎優作

日曜の夜といったらアニメ「ちびまる子ちゃん」。明日月曜日かあ…という憂鬱な気持ちを何度も「ちびまる子ちゃん」には救ってもらいました。こうして恩返しのお機会をいただけるとは…感無量です。

小学生で毎日が無敵だったキャラクター達も、舞台版では8年経って高校生。彼らにも年相応の悩みがあることでしょう。小杉君にも新たな悩みや意外な挑戦があるのかなとか…。原作35周年という素晴らしい節目にこの公演をやらせていただけることに感謝しながら、食いしん坊パワー全開でお届けしてまいります！共にピーヒャラな時間を過ごしましょう！

山根つよし(山根君)役 石川凌雅

国民的作品で、しかも舞台は8年が経過した“もしも”の世界。そんな本作に携わる事ができてとても光栄です。

ちびまる子ちゃんのキャラクター達が青春をどう謳歌していくのか、想像しただけでなんだかニヤニヤしております！キャストの皆さんもユーモアがあり楽しい方ばかりなので、稽古の段階からきっと素晴らしい時間を過ごせるとしています！

高校生役を演じる事ができるのはとっても楽しみで、自身が経験したクラスメイト同士の和気藹々としたあの気持ちを引っ張り出しながら演じたいと思います！

大野けんいち(大野君)役 橋本祥平

国民的人気アニメ「ちびまる子ちゃん」の舞台化と聞いて驚かれた方はたくさんいると思います。僕もその一人でした！(笑)皆さまと同様に、どうやって舞台化するの！？小学生を演じられるのか…とドキドキしていましたが、今作は3年4組の男子たちが高校生になったらという“もしも”のお話。

高校生には色んな悩みがありますよね。その悩みは時に、大人が入れない場合もある。そんな時助けてくれるのはやっぱり友達。

友情、反抗、絆、夢と言った青春物語に加え、しっかりとあの大好きな「ちびまる子ちゃん」の世界が広がっている作品です。もしもの話しなので、きっと色んな人生の選択肢があって、今回その中の一つを演劇として表現させていただきます。

今を生きる3年4組の皆の未来を明るく照らせる様な、希望に満ちた公演にしたいと思います。

演出 小林顕作

ちびまる子ちゃんが出てこない「ちびまる子ちゃん」。その周りの成長した男子たちだけで描かれる「ちびまる子ちゃん」。はじめは何をどう観たら良いものかわからないかも知れませんが、彼らを、彼らの物語を観ながら見えないまるちゃんを想像する。

なんだか演劇ならではの取り組みだなとワクワクしました。舞台上での出来事や言葉のやり取りを観ながら、皆さんなりの、「まるちゃんて、こういう風に成長したのかなあ」を描いていただけたら幸いです。

イケメンたちと、素敵なおじさまたちが、どんなハチャメチャを繰り広げますことやら。ご期待！

僕もめいっばい楽しめます！

公演概要

<公演名>「ちびまる子ちゃん」原作35周年記念公演 ちびまる子ちゃん THE STAGE『はいすくーるでいず』

<公演期間・劇場> 2022年12月15日(木)～12月25日(日) 天王洲 銀河劇場

※3歳以下入場不可

12月	12月	13日	14日	15日	16日	17日	18日
	月	火	水	木	金	土	日
13:00						●	●
14:00							
17:00						●	●
19:00				●	★		
	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
	月	火	水	木	金	土	日
13:00						●	●
14:00	休演日	●	●	●			
17:00						●	●
19:00		●		●	●		

★=びあスペシャルデー(貸切公演)

※3才以下入場不可

<原作>「ちびまる子ちゃん」 さくらももこ(集英社刊)

<演出> 小林顕作

<脚本> 玉川双来

<出演>

花輪和彦(花輪クン):佐奈宏紀 丸尾末男(丸尾君):佐川大樹 浜崎のりたか(はまじ):松島勇之介

藤木 茂(藤木君):矢田悠祐 永沢君男(永沢君):佐藤永典 富田太郎(ブー太郎):原嶋元久

小杉 太(小杉君):川崎優作 山根つよし(山根君):石川凌雅/

大野けんいち(大野君):橋本祥平 杉山さとし(杉山君):GAKU/

青木 翔:石田隼 黒岩 準:後藤 大 白田 嵐:福島海太/

アンサンブル:境 秀人 高橋陸人 齋藤一誠 松本建吾/

西城秀治(ヒデじい):大高洋夫 金井先生:大堀こういち 大野君のお爺ちゃん:酒井敏也

<協力> 一般社団法人 日本 2.5 次元ミュージカル協会

<協賛> ローソンチケット

<主催> ネルケプランニング

<チケット料金> 9,500 円(全席指定/税込)

<チケットに関するお問い合わせ> Mitt TEL:03-6265-3201(平日12:00～17:00)

<公演に関するお問い合わせ> ネルケプランニング <https://www.nelke.co.jp/>

参考資料

「ちびまる子ちゃん」について

「ちびまる子ちゃん」は、静岡県清水市(現・静岡県静岡市清水区)を舞台に、そこに暮らす一家・さくら家の次女である小学3年生のまる子(さくらももこ)と、家族や友だちとの日常を、楽しく面白く、時に切なく描いた心温まる作品です。

1986年に『りぼん』(集英社)で連載を開始し、2021年に原作35周年を迎えました。原作コミックスは全17巻が発売中。2022年10月には18巻の発売も決定。発行部数は累計3,250万部を突破(デジタル版を含む)、海外版はアジア各国でも出版されました。1990年からはテレビアニメ放送もスタートし、フジテレビ系列で毎週日曜日夕方6時より放送中。中華圏をはじめとする海外でも放送され、世界中の老若男女を魅了し、長きに亘り愛され続けています。



©さくらプロダクション/日本アニメーション

Webサイト: <https://www.chibimaru.tv/>

Twitter: https://twitter.com/tweet_maruko

<本件に関するお問い合わせ先>

【「ちびまる子ちゃん」に関するお問い合わせ先】

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当:村岡

電話:080-1250-4046 E-mail:muraoka@nippon-animation.co.jp

画像掲載の際はコピーライトを記載いただきますようお願い申し上げます。

「©さくらプロダクション ©舞台『ちびまる子ちゃん』プロジェクト」